

研究紹介

【種 目】若手研究（B）

【採択機関】東北文化学園大学

【研究期間】2015年4月1日～2018年3月31日（予定）

精神科病院の特殊性に応じた災害時対策に関する研究



講師 松田 優二

医療福祉学部看護学科

東北学院榴ヶ岡高等学校 卒業

山形市立病院済生館高等看護学院 卒業

東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科保健福祉専攻（3年次編入学）
卒業

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程 修了

本研究は、大震災（阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災など）を経験した地域の精神科病院の看護管理職者もしくはリスクマネージャーを対象に、災害時の対応策、マニュアルについて調査し、災害が起きた際、患者の安全を守るために、看護師はどのような対策を講じているか、また講じようとしているか、その現状を明らかにすることを目的としています。

先行研究の調査を行った結果、当該分野の研究蓄積は少ないことがわかりました。災害時、精神科病院の看護師は、人命の安全確保のほか、災害の危機を判断できない患者様を安全に避難していただくこと、病院内散歩中やリハビリテーションなどで病棟から離れている患者様の所在把握にも目を向けなければならない責任を担っており、東日本大震災を契機に今後必要と思われる研究と考えています。

震災、火災など災害は、唐突にやってきます。今回の研究結果が、これからの精神科病院における災害時対策を検討していく際に、精神科領域の特殊性を踏まえた対策を生み出すための有用な基礎資料として還元していければと考えております。